

市民活動センターまつりでの成果として以下のとおり報告します。ご協力ありがとうございました。

<参加目的>一般市民への会活動のPR、部会間の交流、他団体との交流等

<実施内容と成果> スタッフ総勢14名⇒事務局関係7名、部会7名(大学生1、中学生2を含む)

1. 自然のクイズ参加者数 42名(目標50名 達成率84%)
2. HPのQRコード読み取り閲覧数 15名(目標20名 達成率75%)※「己書」プレゼント
3. 入会申込者数 2名(目標3名 達成率67%)※1家族
4. とちの実で「とちまるくん」づくり 35名
5. ネイチャーゲーム 一般来場者 10名 スタッフ7名
6. 物販実績 リース1コ(300円) 飾りカボチャ4コ(400円) 一斗缶塵取り1コ(500円)
かざぐるま苗1コ(300円) ※リース、カボチャの売り上げ合計700円は会の会計へ
7. 展示物等 「部会紹介」A4版×12部会 下野市の動植物写真 理科教室のアイテム キノコ など

<終了後の懇親会>参加13名(約30分) ⇒個々人の感想などを聞くことができました

⇒「初めて参加して楽しかった」「いろいろな年代の方と一緒に出来て良かった」

「ネイチャーゲームに参加できて楽しかった」「他の部会の方とも話ができて良かった」 など

メールでいただいた振り返りの内容は以下のとおりです。(ほぼ原文のままです)

※「良かった点」「改善点」は、次回の実施計画に反映していきます(次回実行委員に引継ぎます)

※まつり全体への意見等は11月8日のセンターまつり実行委員会(反省会)に提出します。

<振り返り(中村)>

良かった点

1. 今までイベントを手伝ったことが無い会員に、今回手伝ってもらったこと。

これは、一番の大きな達成だと思えます。皆さんは始まる前までは不安もあったようですが、始まってみれば、それぞれが力を存分に発揮されていたと感じます。会は今後も継続できると思いました。

2. 多くの会員が遊びに来てくれたこと。

最初に全員メールでお手伝いを依頼しなかったことと、直前に「遊びにきてください」メールやラインを出したことが功を奏したのではないかと考えています。「手伝いができないのに、遊びに行けない」という罪悪感がなく、気楽に遊びに来てくれたのではと考えます。

3. 展示を工夫したこと

展示をクイズ形式にしたことで、楽しく見てもらえたように思います。サイズもA4でコンパクトだったのは良かったです。他の団体も見て回りましたが、大きな模造紙に色々書いてあっても、気分的になかなか読めませんでした。またトチの実でとちまる君づくりや実験の展示、写真の展示、物販コーナーも良かったと思います。ホワイトボードの使用も仕切りとしてうまく機能していました。

4. ネイチャーゲームをしたこと

10人ほどの方に参加してもらっての外での活動は、皆さんに楽しんでもらえました。コアラ公園というあまり自然に恵まれた場所ではありませんでしたが、フィールドでの活動の面白さを少しは感じててもらえたようです。初めてにしてはうまくいったのではないかと考えています(自画自賛!)

改善点

1. 「室内での展示」 → 「室内での展示 + 外での展示」にできないかと思えます。

初めての室内での展示は、「じっくりと見てもらえる」といういい点がありました。

(外だと、テントの奥に展示があり、なかなか展示は見てもらえなかった感があります) 天気に左右されないのもメリットです。ただ、場所が狭くて、少しごちゃごちゃしていた気がします。まつぼっくり釣りの場所も取れませんでした。グリーンクラブは中でも外でもブースを持っていましたので、可能かと考えます。

2. まつり全体への意見として外での展示を避けるセンターからの意向がありました。それを少し見直す方向もありなのでは？(簡易テントを使うなど、で危険は避けられます)

また、外での展示の仕方も工夫の余地があります。入り口前に職員が二人立っていて、案内図などを配っていましたが、テント(会で持っている簡易テントで十分)の中でそのようなことをする方がお祭り感が出ると思いました。また、外でグリーンクラブがテント無しで昔遊びをやっていましたが、少しさびしさが出ていたので、やはり簡易テントがあるといいように思いました。団体として持っていないのならば貸し借りができればいいですね。

<振り返り(平澤)>

○祭り全体として

- 良かった点
- ・室内中心での実施は、雨天の心配をしないですむ。
 - ・料理がないので、容器・カップ・割りばしなどのゴミが出なかった。
 - ・スタンプラリーにより、各部屋を必然的に回ることが出来た。
- 改善点・要望点
- ・コミセンでの靴の履き替えは、面倒である。(スリッパも不足していた)
 - ・この祭りに関しての印刷は、無料にして頂けると助かる。

○親しむ会として

- ・センターまつりとして初めての室内での展示で狭いと感じたが、少人数でも人が群がっているように見えるのでいいのではないかと。また、人がいるところに人は集まるってくるような気がします。
- ・今までは、コアな人たちがイベントを実施していたが今回はそれ以外の会員に参加していただけた。部会間での横の繋がりという、会の目的の一步だと思えます。
- ・手弁当ではなく、みんなにお昼を出せた。私見ですが、ボランティアと言ってもちょっと何かがあればいいなあと考えています。

<振り返り(杉浦)>

狭かったですね。室内だとやはり勝手が悪いです。第一回生涯学習情報センター祭りで、10個を完売した一斗缶チリトリが一つしか売れなかったのもその辺りが原因しているのかもしれませんが。

<振り返り(大橋)>

- 良かったこと
- ・いつものメンバーに加え各部会からの参加を得てブース運営ができた。このことにより部会間の交流ができ、さらに他の団体のブースを見て回る余裕ができた。
 - ・資料や写真以外に実験機材等の展示や「とちまるくん作り」が好評であった。
 - ・室内の展示ブース運営と同時に実施した屋外でのネイチャーゲームが大変好評であった。一般参加者とともにスタッフも楽しむことができた。
 - ・参加スタッフに昼食・お茶を出すことができた。
 - ・短時間ではあったが「終了後の懇親会」を実施し参加者から感想を聞くことができた。
- 改善点など
- ・屋内の限られたスペースでの展示・運営に苦慮した。今後、屋外またはコミセンのホール利用も検討した方がよい。
 - ・「クイズ」に関し、その主旨を理解していただけない内容が一部あったことから、次回の実施内容として検討が必要。